

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所るれいるーむ(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	R6年 12月 2日		～ R6年 12月 27日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15家族	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	R6年 11月 27日		～ R6年 12月 6日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	相談しやすい環境の整備	信頼関係を築く為、帰りの送迎時には今日の様子を話す等短い時間だが、るれいるーむで楽しく過ごしていることを伝えられるようにしている。	年に2回茶話会（保護者様との雑談会）を開催し、相手を知り、私たちのことも知ってもらう機会を作っていく
2	自宅の様な建物での活動で緊張せず自宅感覚で学ぶ事ができる	外観は一般的な自宅の様な見た目だが、トイレがたくさんあったり洗面設備がたくさんあったり、子どもたちを極力待たせないようにしている。 また、メインの部屋には極力ものを置かず、落ち着いて過ごせる環境を作っている。	部屋の区切りを行い、ゾーン分けをしていけるよう計画中
3	活動内容が豊富で職員も一緒に楽しんでいる。	長期休みにはいろんな所に遊びに出掛けたり、月に1回はクッキングを企画している。 事業所菜園も力を入れていて、自分たちで育てた野菜を調理したり、販売会を行ったりしている。	保護者様にもアンケートを行い、活動内容に組み込んでいくことを計画中

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能型事業所なので、長期休みには児発10名・放デイ10名と大人数になり、部屋が足りないと感じることがある。	普段は時間がずれている事もあり、各活動が円滑に行えているが、長期休みになると利用時間帯が同じな為部屋数が足りなくなってしまう事がある。	近くにある自治会館や体育館を借りることがある。 児発・放デイ合同の活動を企画して異年齢での活動をすすめている
2	毎年、児発卒業から放デイを希望してくれる利用者様がいるが空きがなく案内できないことがある。	放デイに関して空きがなく案内ができない。 対象年齢が小学校1年生から18歳までと長く空きができてにくい。	本社に新しく10定員の放デイ立上げ計画がある。 今後も利用者様の必要ニーズに合わせ拡大していく予定
3	・立地が入り組んだところにあり、保護者様の送迎時、事業所の前の道路や駐車場が混みあってしまう事がある。	・送迎時間が重なってしまう事や、送迎時、保護者様への伝達事項が多くなってしまう時がある事。	・学年別に送迎時間を設定したり、必要最低限の連絡以外は連絡帳やLINEを使用して行ったりするなど。